

私のキャンパスライフ

石巻専修大学生に「私のキャンパスライフ」を聞いた。本学は勉学、スポーツ、サークルのほかに、学生のさまざまな活動やチャレンジを応援する施設や環境が整っている。

憧れの仕事に近づく 資格取得

旅行業界や観光業界の最新事情を研究し、必要な資格の取得を目指す太田健一(せいで)君。国内旅行業務取扱管理者試験に合格した。昨夏、試験1カ月前からアルバイトを休み、自宅近くの図書館で終日机に向かった努力が実った。



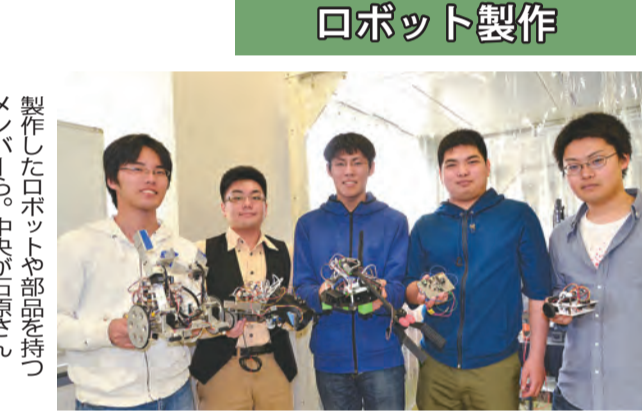
合格証を手裏頭の村上さん

野のランナー畑も旅程に組み込まれ、一生の思い出になった。「旅行会社の方がコースを工夫して、家族みんなが楽しめるようにプランを練ってくれたおかげ。僕もこういう仕事に就きたいと感じました」

受験生に情報提供 学生スタッフ

宮城東石巻市立女子商業高校現石巻市立校舎高。受験生に役立つ情報を提供し、受験生をサポートする学生スタッフの活躍が注目されている。

コンクール入賞が目標 ロボット製作



石原佳汰さん(理工3・青森県青森工業高)。機械工学科の仲間3人とコンペティションを使って設計・デザインし、3Dプリンターで出力した部品を組み合わせてロボットを作った。入賞はできなかったが、ロボットにどういった仕事をさせるか、ソフト面が重要なことと実感した。



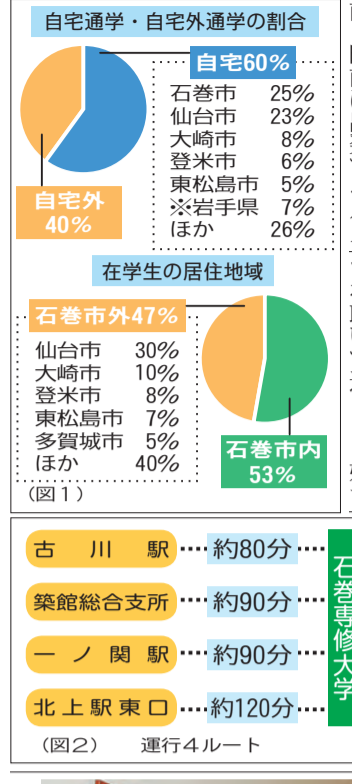
学生スタッフのメンバー。2列目、左から2人目が阿部さん

音楽聴いてリラックス 自宅通学サポートバス



車内でリラックスする郡さん

郡 瑞季さん(人間2・岩手県北上翔南高)。在学生の約6割は自宅から通学している。JRや高速バスでつながる仙台市や近隣の自治体のほか、岩手県内からも50人が通学(図1)。その足を支えるのは、片道100〜500円と格安で利用できる大学直営の学生専用「自宅通学サポートバス」だ。



石巻専修大学 運行4ルート

古川駅	約80分
築館総合支所	約90分
一ノ関駅	約90分
北上駅東口	約120分

海と山と温かい人々

人気カフェオーナー OB 亀山貴一さん

「Cafeはまはる」は、石巻市桃浦字始(石巻専修大学から約10分)にあり、東へ車で20分、牡鹿半島、穏やかな海が広がる。小さな漁村にある。入江を見下ろす高台に佇むカフェの店頭には開店を待つ客が並んでいた。店内ではオーナーの亀山貴一さん(平18石院理山貴一さん)が笑顔で接客している。

「故郷の魅力伝えたい」

「海と山の自然がある。温かい人々がいる。そんな故郷の魅力を伝えたい」と、ずっと思いを馳せている。津波に被災された人々が訪れる人気店。故郷の存在が危ぶまれている。地域に貢献したい。亀山さんは、東日本大震災の被災地をめぐり、被災地を支援する活動を行っている。



手形で作るアートを作るハンドペイント

学生のチャレンジ応援 充実の施設



ラウンジで談笑する御藤納さんと大平さん

石巻専修大学 ユニバーシティハウス。図書室が大好きな大平さん。図書室は、学生が自由に利用できる。最新の設備が整っている。学生が安心して勉強や読書ができる環境が整っている。

ゆりのの閲覧室 貴重な書籍

図書室が大好きな大平さん。図書室は、学生が自由に利用できる。最新の設備が整っている。学生が安心して勉強や読書ができる環境が整っている。

石巻専修大学



女子競走部。創設1年目を迎える。部員は20名。練習は毎日行っている。選手たちは、日々の練習で成長を遂げている。

ハード野球部



ハード野球部。南東北大学野球リーグ戦で優勝5回の実績を誇る。部員総勢93人が日々練習している。

学生会



学生会。阿部貴之会長(理工3・青森県八戸西高)は、学部や学年、サークルの垣根を越えた新たな学生交流イベントを企画している。

サークル紹介

サークル紹介。本学のクラブ・サークルは44団体(特別団体3、文化会18、体育会23)。5団体の代表に今後の目標を挙げてもらった。